

2020年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業

「旭川市 地球温暖化に関する市民意識調査」

調査結果

令和2年12月

北海道地球温暖化防止活動推進センター

1 調査目的

本調査は、旭川市における今後の温暖化対策の施策検討に向けた基礎知見として、市民のCO₂排出に関わるライフスタイル特性や市の環境施策に対する意向等を把握することを主目的として行いました。

2 調査概要

(1) 調査主体

本調査は、北海道地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人北海道環境財団）及び旭川市が主体となり連携実施したものです。

(2) 調査期間

令和2年（2020年）7月～8月

(3) 調査対象

旭川市民 1,000人（住民基本台帳から18歳以上を無作為抽出）

(4) 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒により回収

(5) 調査内容

地球温暖化に関する認識、暖房等設備使用状況、省エネルギー行動実施状況、温暖化対策の市施策への意向 等

※ 詳細は報告書末尾の調査票を参照

(6) 回答数（回答率）

409人（40.9%）

※ 回答最終受付日：令和2年10月7日

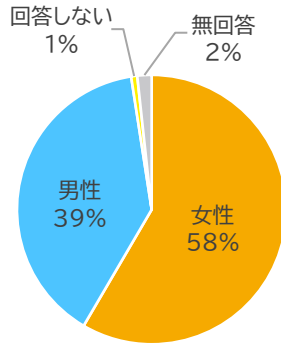
(7) その他

本報告書では、集計結果の数値を小数点以下第1位で四捨五入しています。したがって、構成比の合計が100パーセントにならない場合があります。

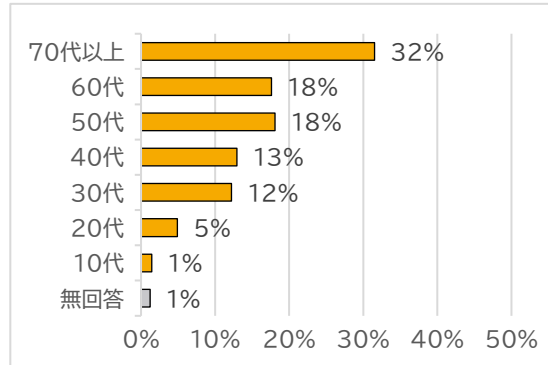
3 調査結果

3-1 回答者の属性

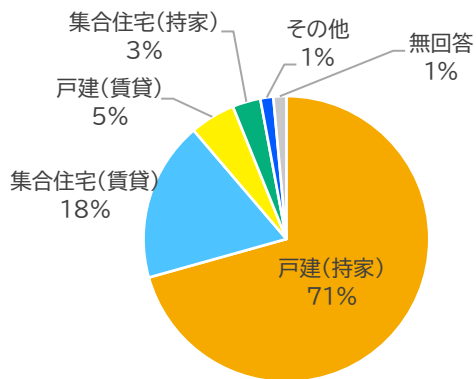
① 性別 (n=409)



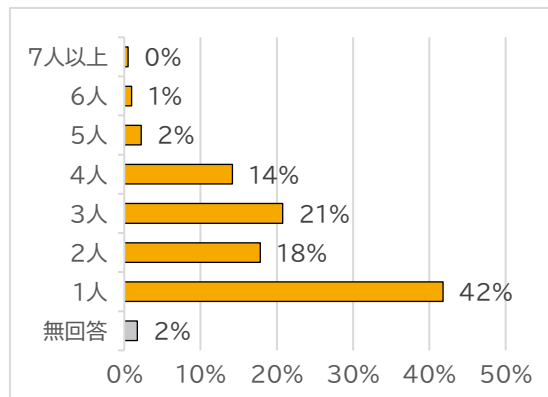
② 年代 (n=409)



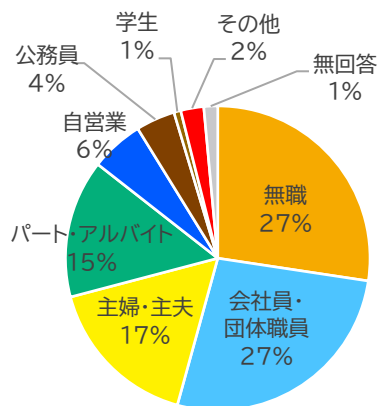
③ 住居形態 (n=409)



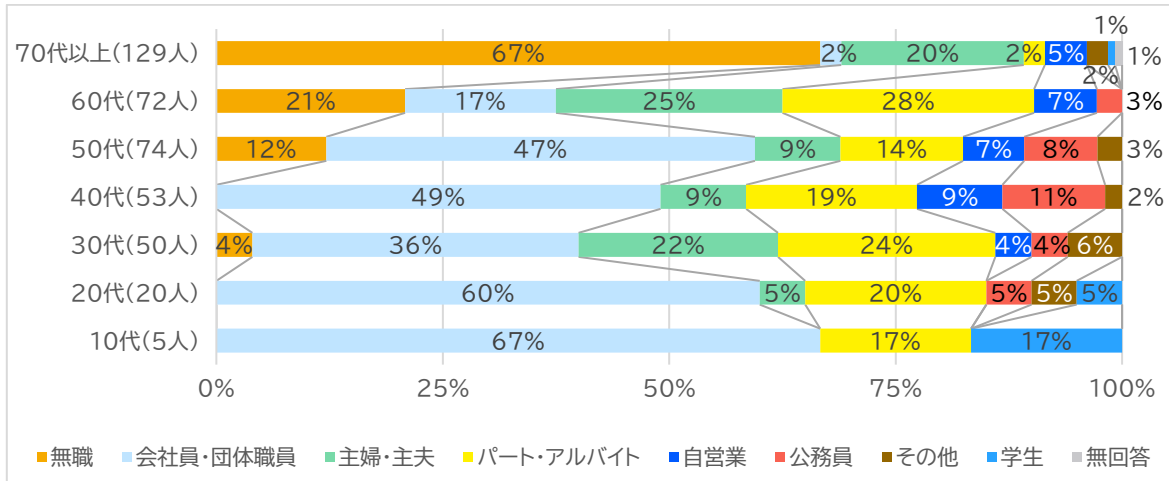
④ 世帯人数 (n=409)



⑤ 職業 (n=409)



▶ 年代別×職業



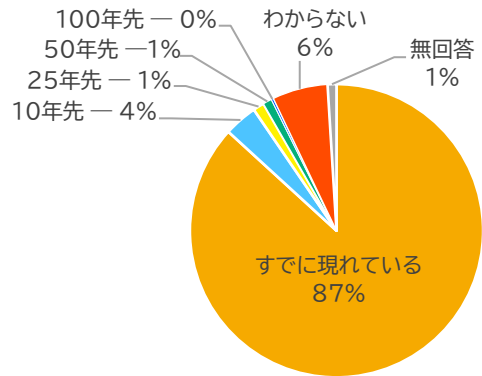
3-2 地球温暖化に対する認識について

①-1 北海道での地球温暖化の実感度 (n=409)

問1 あなたは、北海道で温暖化の影響が現れるのはどれくらい先だと思いますか？

「すでに現れている」との回答が87%を占めました。将来に現れるとする回答についても、時期は現時点から近い順に多い結果でした。

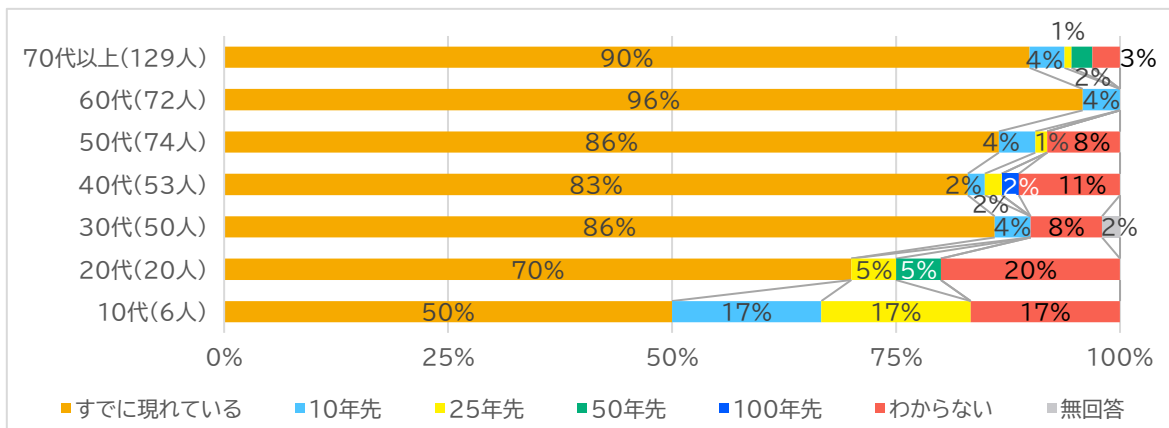
年代別では、現在～近い将来に現れるとする回答は60代以上で特に多い傾向でした。



▶ 他調査との比較

【全国】 日本人の環境意識に関する世論調査
(2016年度, 国立環境研究所)
→ 「既の実感している」77%

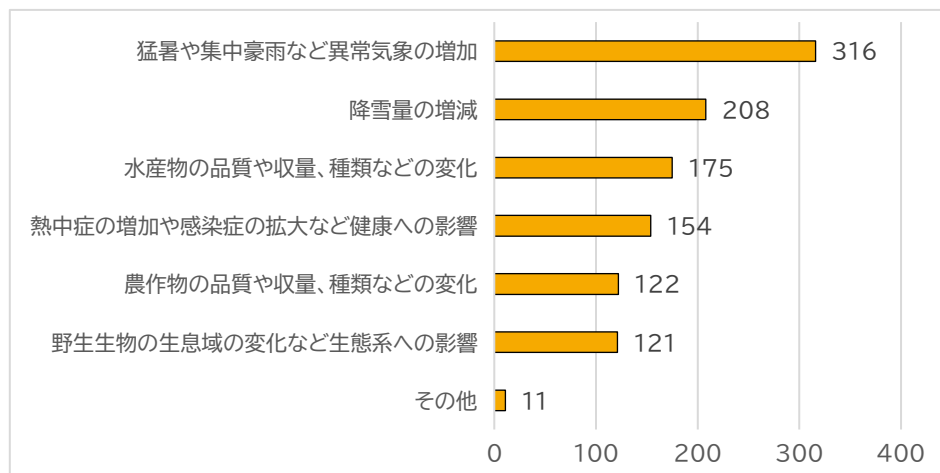
▶ 年代別×地球温暖化の実感度



①-2 「すでに現れている」を選んだ理由 (n=355、複数回答)

問1-a どのようなことで温暖化の影響を感じていますか？(問1で「すでに現れている」を選んだ方への質問/該当するもの全てを選択)

「猛暑や集中豪雨など異常気象の増加」(316件)が最も多く、次に多い項目は「降雪量の増減」(208件)でした。

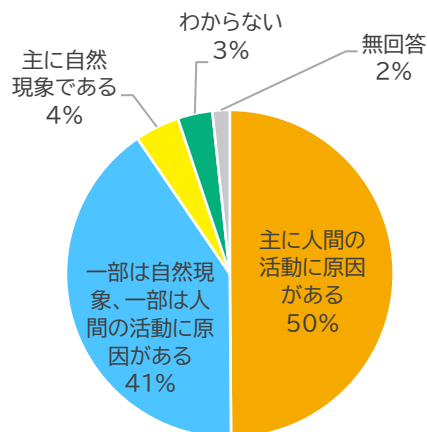


② 温暖化の原因 (n=409)

問2 温暖化の原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いものはどれですか？

「主に人間の活動に原因がある」は50%、「一部は自然現象、一部は人間の活動に原因がある」は41%を占めました。

年代別では、人間の活動に原因があるとの回答の割合は40代で特に高い結果でした。



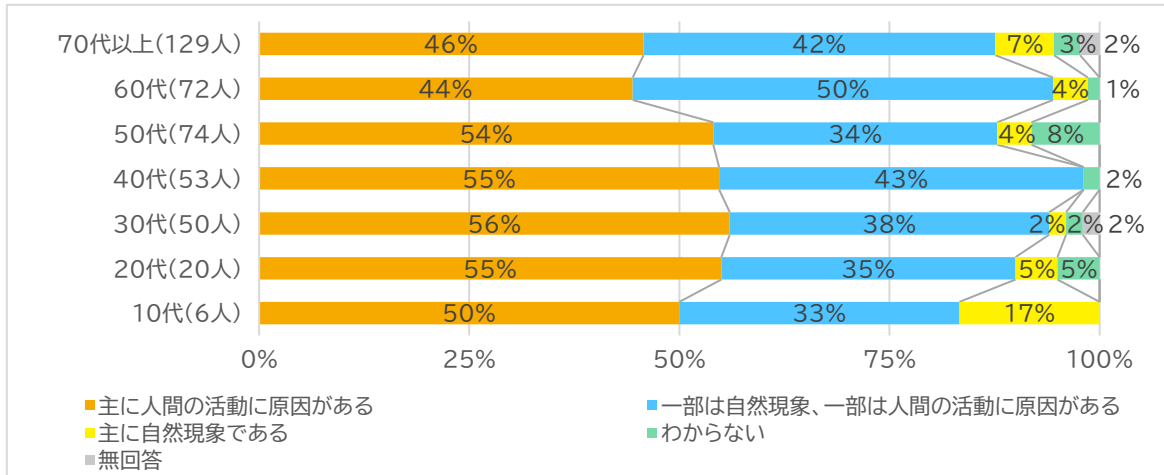
▶ 他調査との比較

【全国】日本人の環境意識に関する世論調査
(2016年度, 国立環境研究所)

→ 「おおかたは人間活動に原因」 37%

→ 「一部は自然現象、一部は人間の活動に原因」 41%

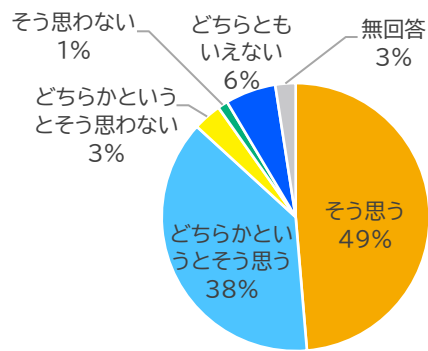
▶ 年代別×温暖化の原因



③ 温暖化防止のためのライフスタイル転換の必要性 (n=409)

問3 あなたは、温暖化の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか？

「そう思う」と「どちらかというと思う」が合わせて87%を占めました。

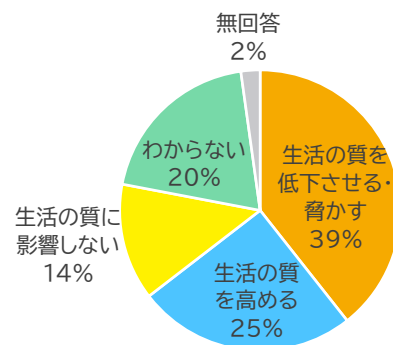


④-1 温暖化対策が生活の質に与える影響 (n=409)

問4 温暖化対策が個人の生活の質（衣食住や生活環境、仕事、人間関係などあらゆる側面を含めた満足度）に与える影響について、あなたの考えに近いものはどれですか？

「生活の質を低下させる・脅かす」は39%、「生活の質を高める」は25%との結果でした。年代別に見ると、「高める」に対する「低下させる・脅かす」の回答の比率が最も大きいのは50代で、約2倍の差がありました。

一方、20代以下では「低下させる・脅かす」よりも「高める」との回答が多く、他の年代と逆の傾向でした。



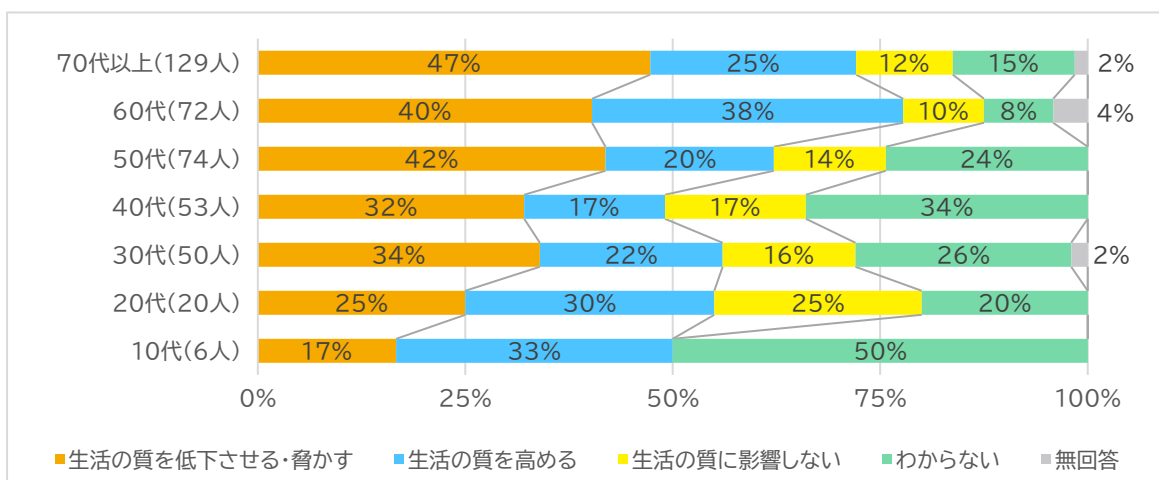
▶ 他調査との比較

世界市民会議「気候変動とエネルギー」における調査（2015年）（データ引用元：日本科学未来館・展示活動報告 vol.11 世界市民会議「気候変動とエネルギー」ミニ・パブリックスのつくる市民の声）

→【世界全体】「生活の質を高める」67%

→【日本】「生活の質を高める」17%

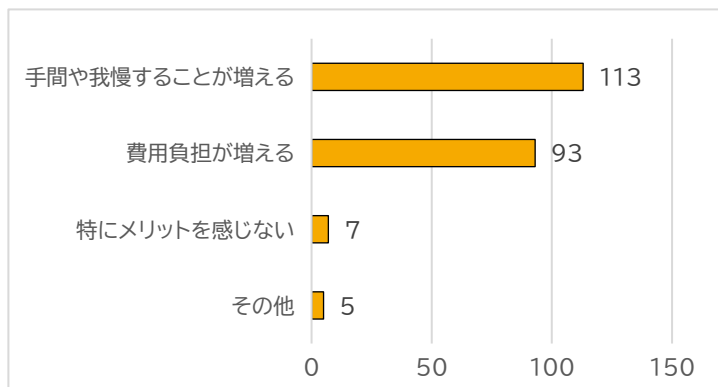
▶ 年代別×温暖化対策が生活の質に与える影響



④-2 「生活の質を低下させる・脅かす」と考える理由（n=161, 複数選択）

問4-a 「生活の質を低下させる・脅かす」と思う理由は何ですか？（問4で「生活の質を低下させる・脅かす」を選んだ方への質問／該当するもの全てを選択）

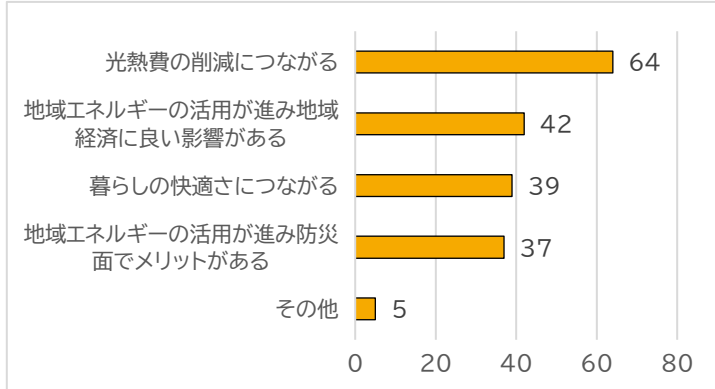
最も多い回答は「手間や我慢が増える」（113件）でした。



④-3 「生活の質を高める」と考える理由 (n=103, 複数選択)

問4-b 「生活の質を高める」と思う理由は何ですか？(問4で「生活の質を高める」を選んだ方への質問/該当するもの全てを選択)

最も多い回答は「光熱費の削減につながる」(64件)でした。

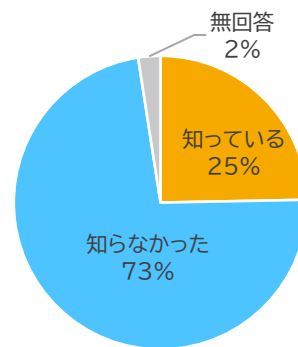


⑤ 北海道による2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ表明の認知度 (n=409)

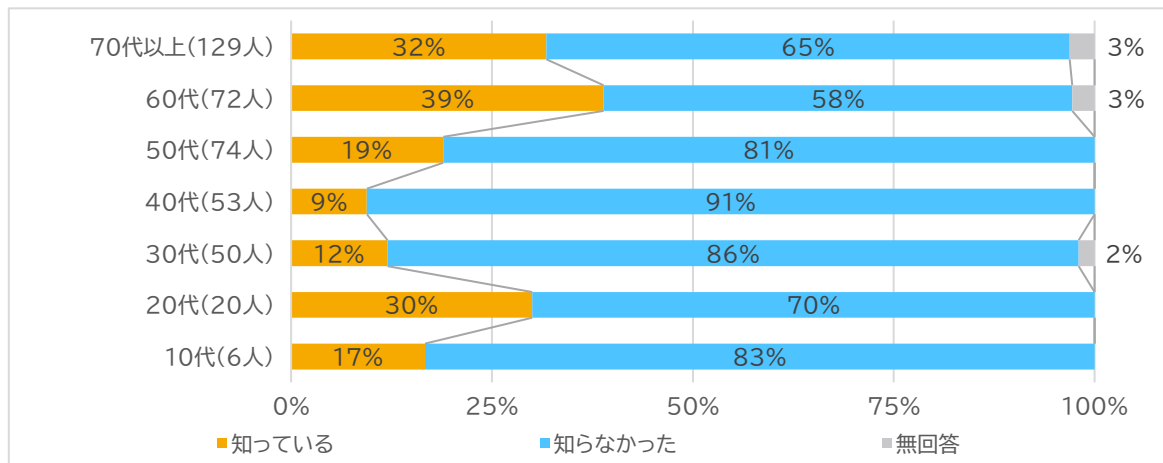
問5 北海道では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目指していますが、このことを知っていましたか？

「知っている」との回答は25%でした。

年代別では20代及び60代以上で認知度が比較的高く、3~4割程度でした。



▶ 年代別×北海道による実質ゼロ表明の認知度

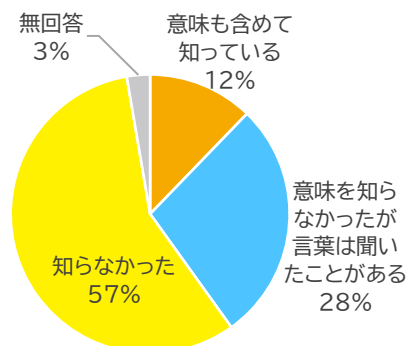


⑥ 地球温暖化の影響への「適応策」の認知度 (n=409)

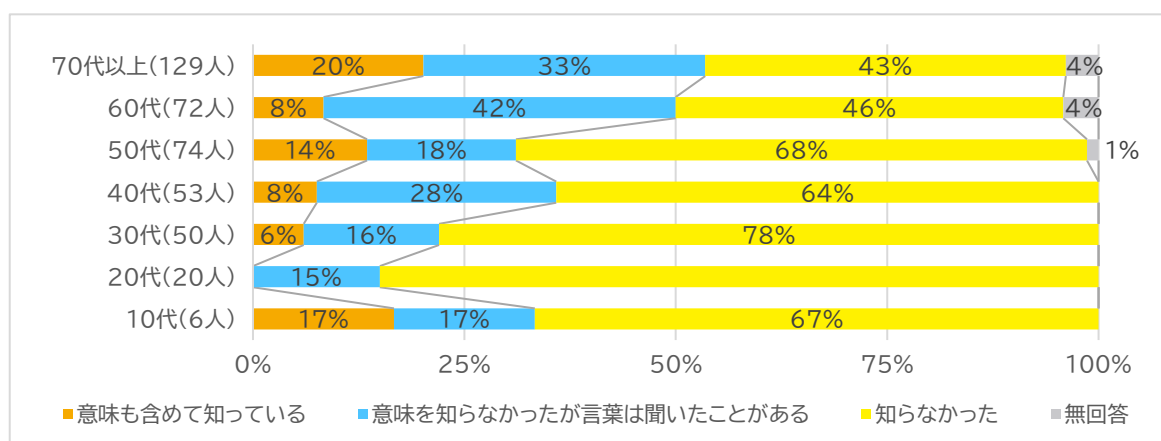
問6 地球温暖化の対策として、すでに生じている被害や将来予測される被害を回避・軽減することを「適応策」と言いますが、あなたはこの言葉を知っていましたか？

半分を超える57%が「知らなかった」と回答し、「意味も含めて知っている」の回答は12%でした。

年代別では、40代以上で認知度が比較的高い傾向でした。



▶ 年代別×「適応策」の言葉の認知度

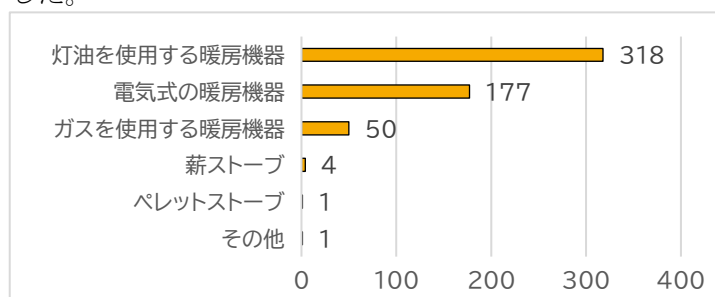


3-3 家庭での暖房の使用状況について

① 使用している暖房の種類 (n=409)

問7 あなたのご自宅では、どのような種類の暖房機器を使用していますか。(該当するもの全てを選択)

最も多いのは「灯油を使用する暖房機器」(318件)で、8割程度の家庭で使用されていました。

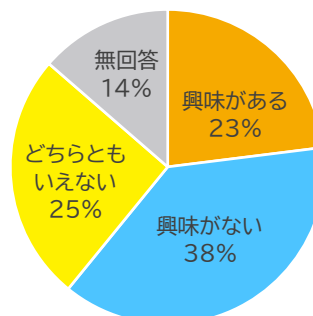


②-1 薪ストーブやペレットストーブへの興味 (n=404)

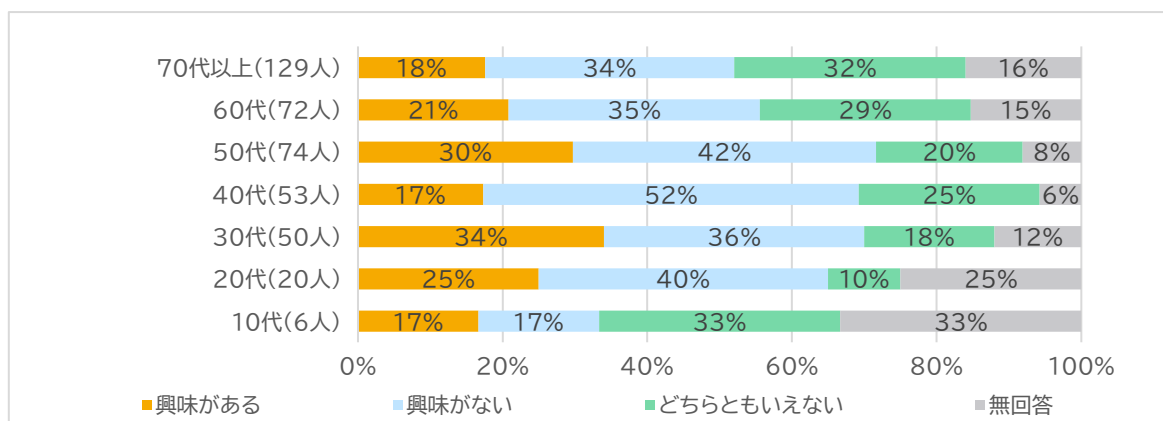
問8 薪ストーブやペレットストーブを現在使用していない方にお尋ねします。あなたは、薪ストーブやペレットストーブに興味がありますか？ (問7で「薪ストーブ」又は「ペレットストーブ」を選択していない方への質問)

「興味がある」は23%、「興味がない」は38%との結果でした。

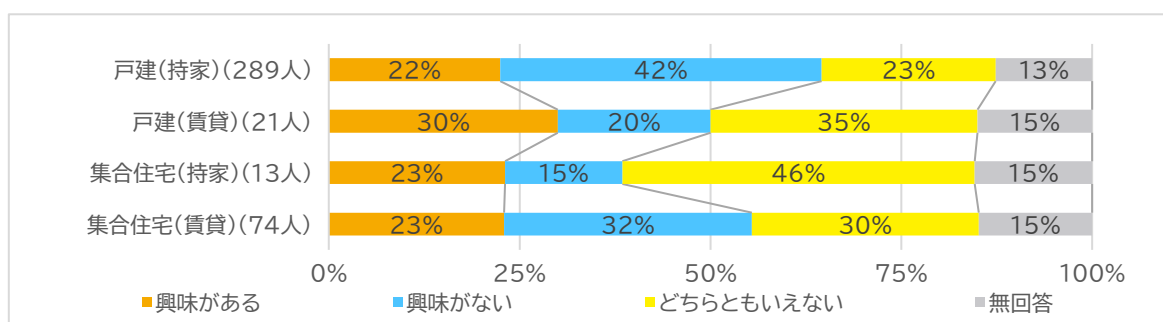
「興味がある」に対する「興味がない」の比率が特に大きいのは、年代別では40代、住居形態別では戸建（持家）に居住している方でした。



▶ 年代別×薪ストーブやペレットストーブへの興味



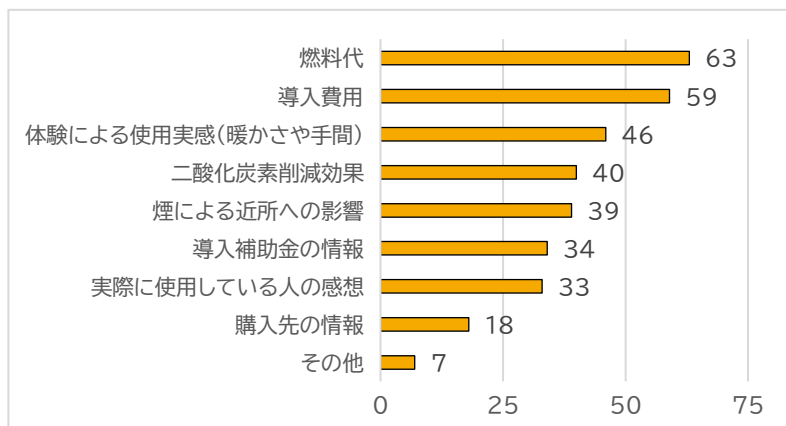
▶ 住居形態別×薪ストーブやペレットストーブへの興味



②-2 薪ストーブやペレットストーブを導入する場合の検討情報 (n=93)

問 8-a 仮に将来、薪ストーブやペレットストーブの導入を検討する際に、知りたい情報は何か？（問 8 で「興味がある」を選んだ方への質問／該当するもの全てを選択）

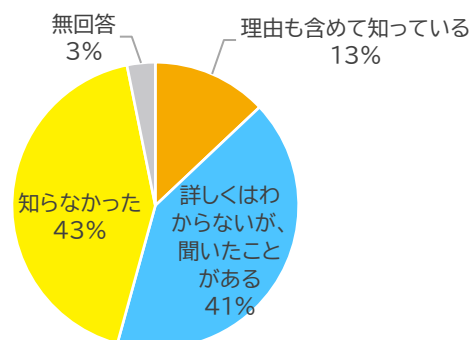
「燃料代」(63 件)、「導入費用」(59 件)と、費用に関する項目が最も多い結果でした。



③ 薪ストーブやペレットストーブと温暖化対策の関係に対する認識 (n=409)

問 9 あなたは、化石燃料の代わりに木質系燃料（薪や木質ペレット）を使うことが、温暖化対策にもなることを知っていましたか？

43%が「知らなかった」と回答しており、「理由も含めて知っている」との回答は13%でした。



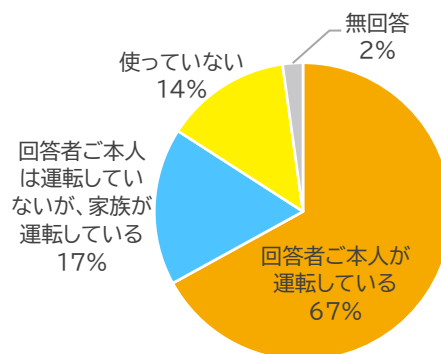
3-4 家庭での自動車の使用状況について

① 自動車の使用及び運転の状況 (n=409)

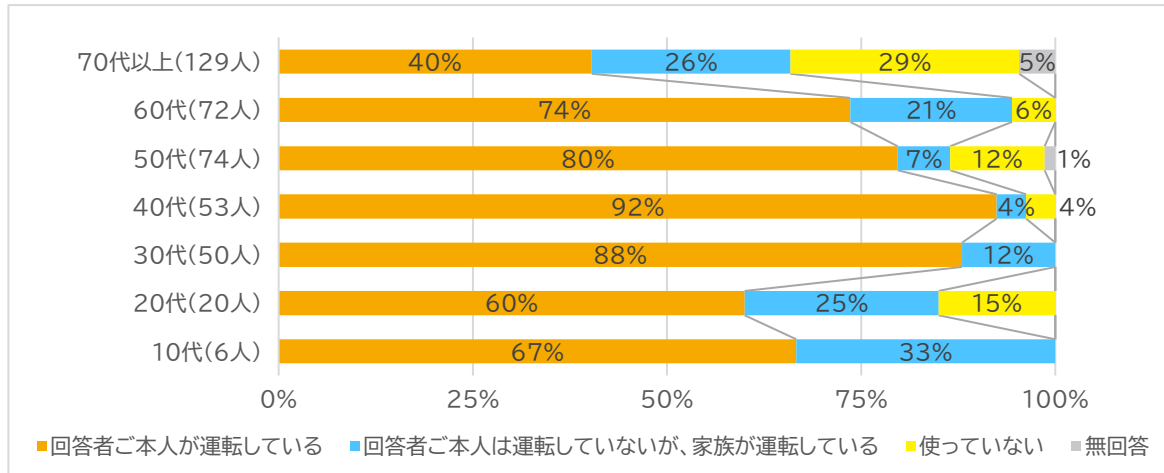
問 10 あなたのご家庭では自動車を使っていますか？

3分の2程度(67%)が「回答者ご本人が運転している」との回答でした。

年代別では、30代と40代で運転者の割合が高く9割程度であった一方、70代以上では4割程度でした。



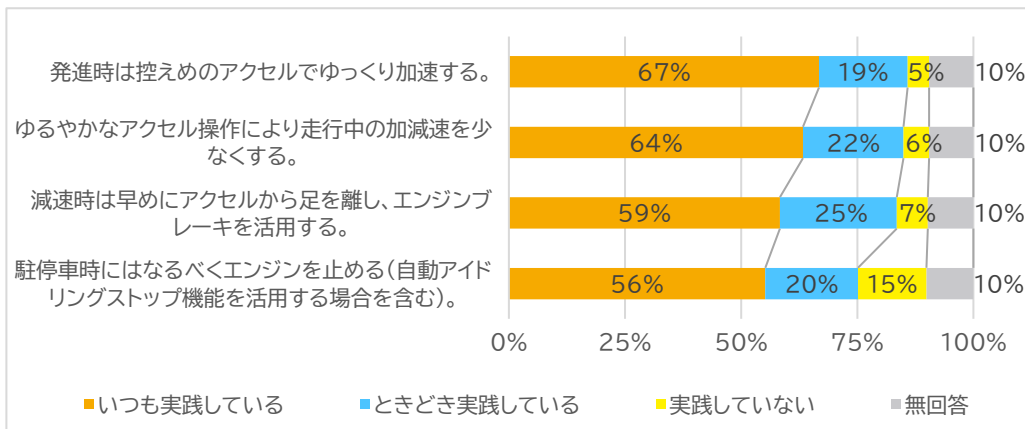
▶ 年代別×自動車の使用及び運転の状況



② 燃費の良い運転方法の実践状況 (n=344)

問 10-a 同封のリーフレット「エコ&セーフティドライブで北海道を走ろう。」をご覧ください。リーフレット 2~3 ページでは燃費の良い運転方法を 4 項目紹介していますが、あなたは自動車を運転する際にこれらの項目を実践していますか？（自動車を運転している方への質問）

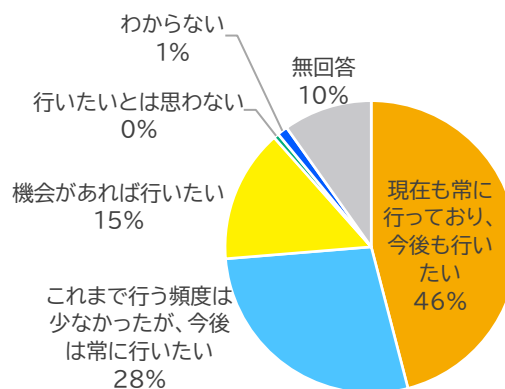
「いつも実践している」と「ときどき実践している」の合計は、発進時のアクセルに関する項目が最大で、86%でした。最も少ないアイドリングストップの項目では 76%でした。



③ リーフレット閲覧後のエコドライブ実践意向 (n=344)

問 10-b 同封のリーフレット「エコ&セーフティドライブで北海道を走ろう。」をお読みになって、今後、エコドライブに取り組もうと思いましたか？(自動車運転している方への質問)

「現在も常に行っており、今後も行いたい」と
「これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい」の回答が多く、合わせて74%でした。



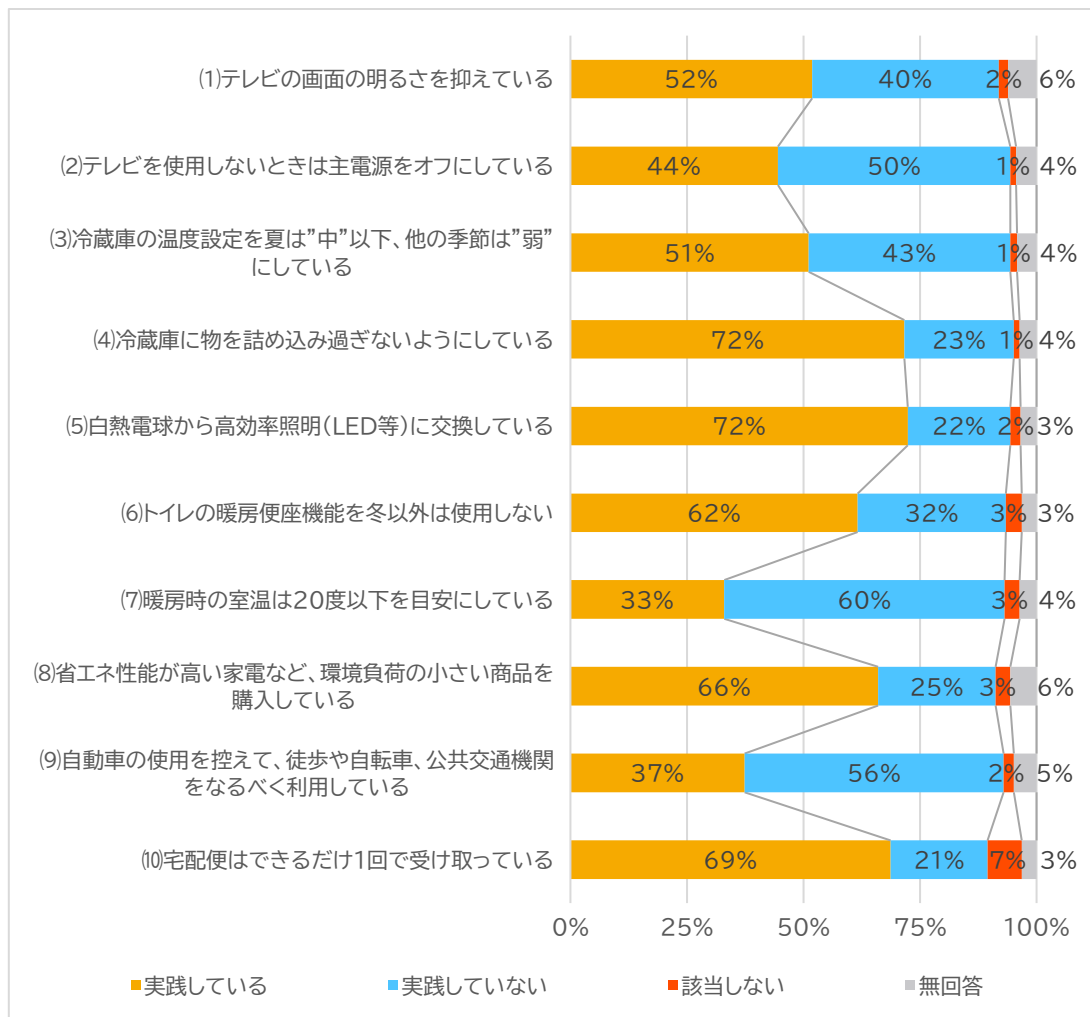
3-5 省エネルギー行動実践状況

① 省エネ行動実践状況 (n=409)

問 11 省エネにつながる(1)～(10)の行動内容について、実践状況を選んでください。

実践率の高いものは、「(4)冷蔵庫に物を詰め込み過ぎないようにしている」(72%)、「(5)白熱電球から高効率照明(LED等)に交換している」(72%)、「(10)宅配便はできるだけ1回で受け取っている」(69%)などでした。

一方、実践率の低いものは、「(2)テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」(44%)、「(7)暖房時の室温は20度以下を目安にしている」(33%)、「(9)自動車の使用を控えて、徒歩や自転車、公共交通機関をなるべく利用している」(37%)などでした。

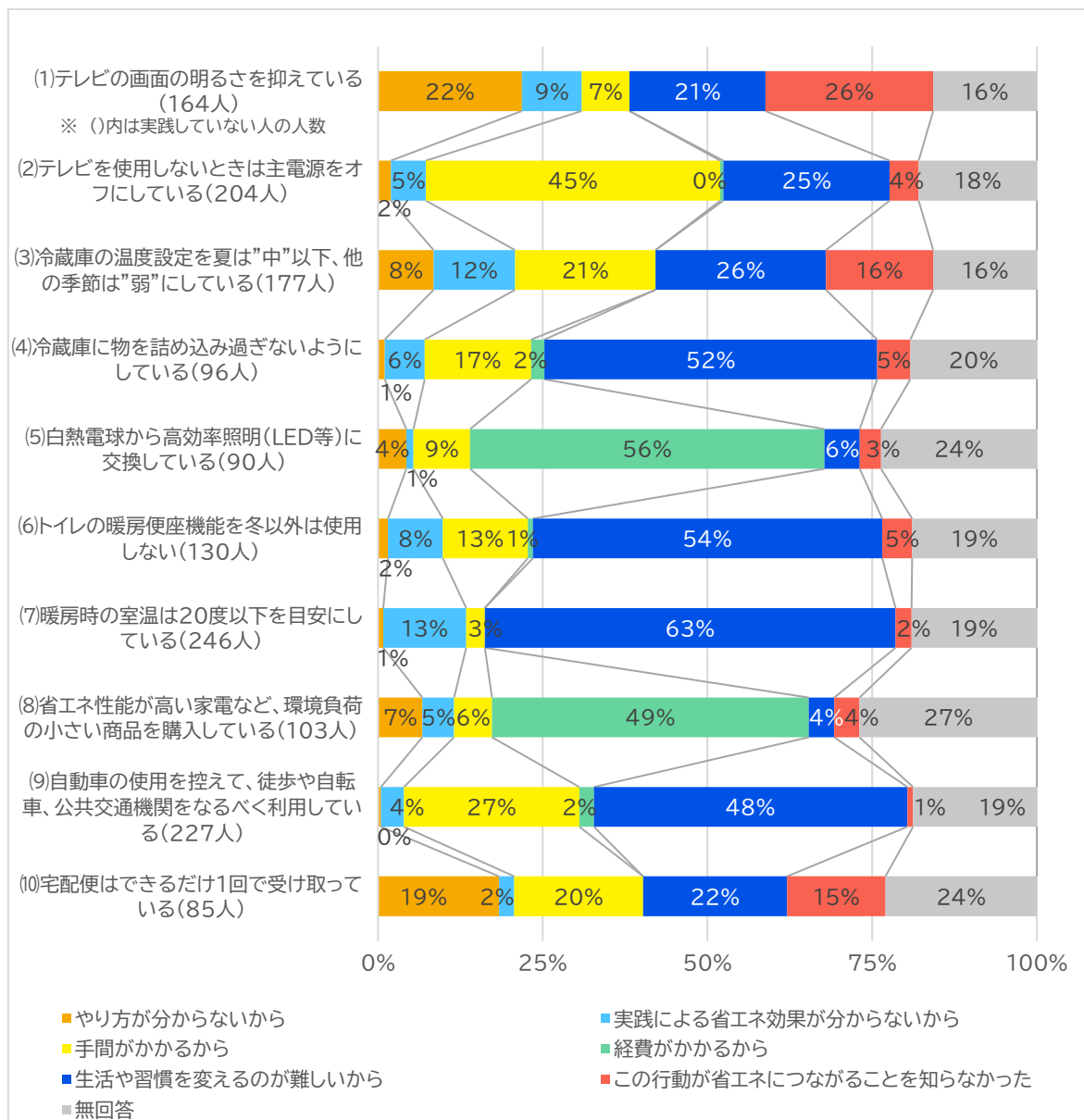


② 各省エネ行動を実践していない理由

問 11 「実践していない」を選択した場合、さらに「実践していない理由」について、選択肢の中から最も近いもの1つを選んでください。

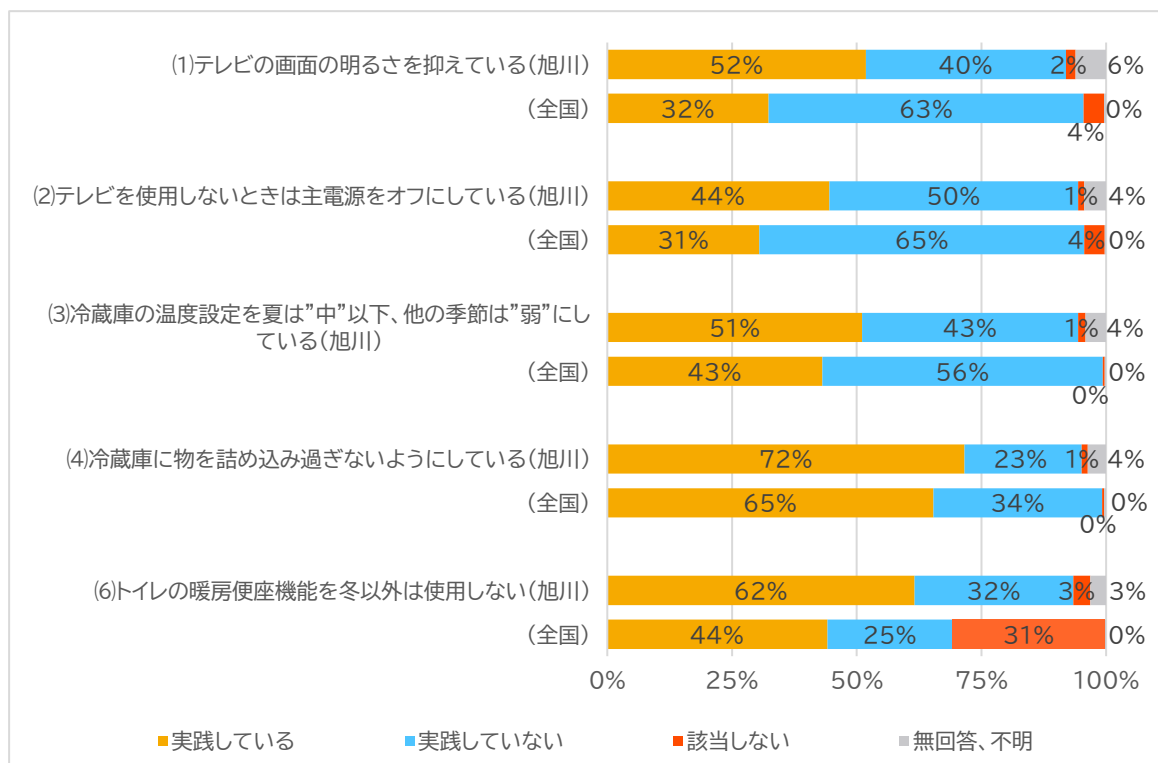
省エネルギー行動を実践していない理由は、「生活や習慣を変えることが難しい」という回答が多い傾向にあり、実践率が33%と最も低かった「(7)暖房時の室温は20度以下を目安にしている」では63%がこの理由からでした。

そのほか、直接的な費用負担を伴う「(5)白熱電球から高効率照明(LED等)に交換している」、「(8)省エネ性能が高い家電など、環境負荷の小さい商品を購入している」では、「経費がかかる」が多くを占め、「(2)テレビを使用しないときは主電源をオフにしている」では「手間がかかる」が最も多い回答でした。



③ 旭川市と全国の行動実践状況の比較（集計世帯数：旭川市 409／全国 9,660）

「家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査」（環境省、2019 年度）による実践率の全国結果（速報値）と比較すると、比較可能な 5 項目の全てにおいて旭川市の実践率の方が高くなっています。



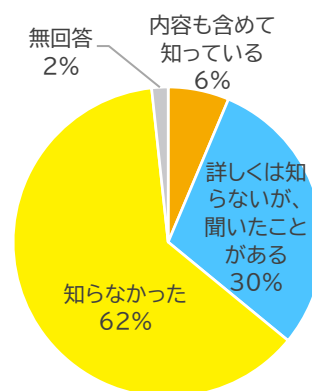
3-6 クールチョイスの取組み意向、持続可能な開発目標（SDGs）の認知度

① 国民運動クールチョイスの認知度（n=409）

問 12 政府では、生活の中で温暖化対策につながる行動や商品・サービスを選択する「クールチョイス（賢い選択）」の取組みを呼びかけていますが、知っていましたか？

国民運動「クールチョイス」について、「内容も含めて知っている」は 6%、「詳しくは知らないが聞いたことがある」は 30%でした。

年代別では、高年齢の年代で認知度の高い傾向にありました。

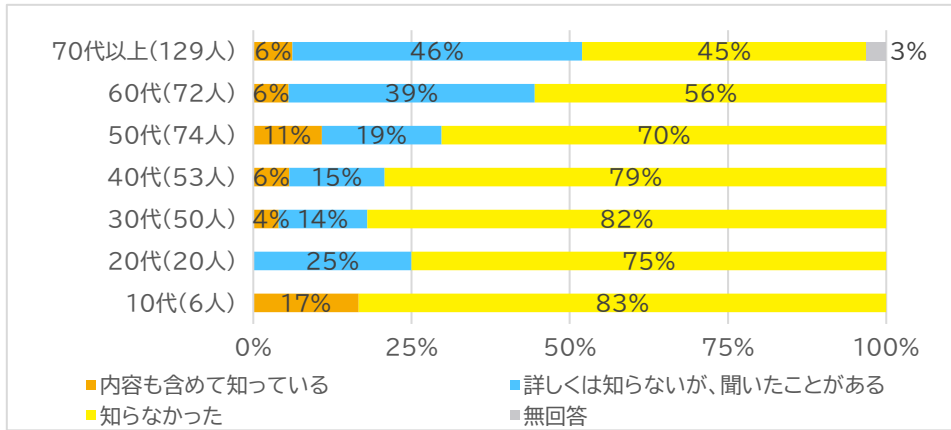


▶ 他調査との比較

【全国】地球温暖化対策に関する世論調査
(2016 年度, 内閣府)

→ 「内容までよく知っている」 5.7%
「名前は聞いたことがある」 22.4%

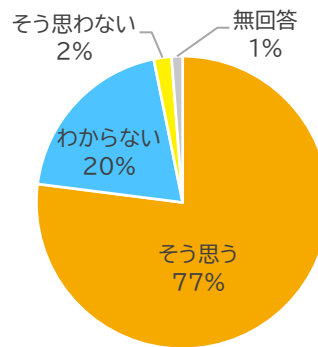
▶ 年代別×クールチョイスの認知度



②-1 国民運動クールチョイスの取組み意向 (n=409)

問 13 あなたは、これからの生活の中で、温暖化対策につながる行動や商品・サービスを選択していこうと思いませんか？

77%の方が「そう思う」と回答しました。

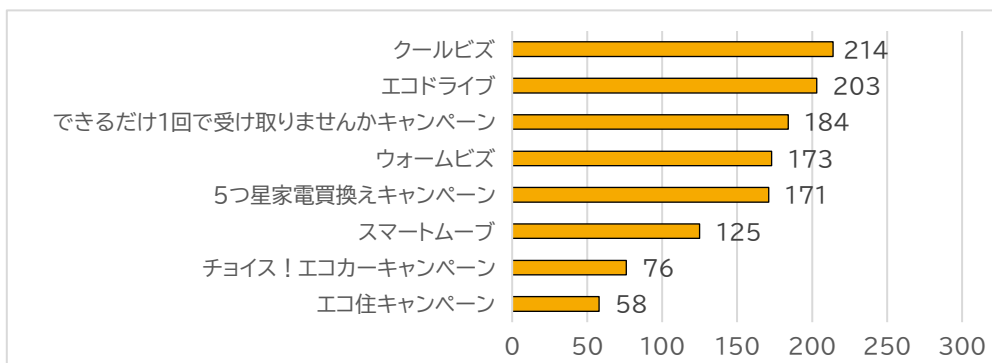


②-2 温暖化対策に係る各取組みへの意向 (n=315)

問 13-a 政府では、以下の取組みの呼びかけも行っていますが、あなたが今後取り組もうと思うものはありますか？（問 13 で「そう思う」を選んだ方への質問／該当するもの全てを選択）

特に多い回答は「クールビズ」(214件)、「エコドライブ」(203件)でした。

※各取組みの内容については、本報告書に添付の調査票「問 13-a」の部分をご参照ください。

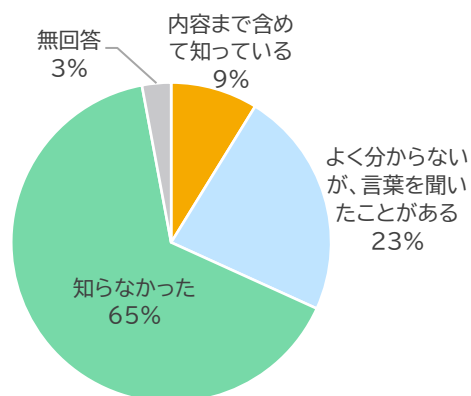


③ 持続可能な開発目標（SDGs）の認知度（n=409）

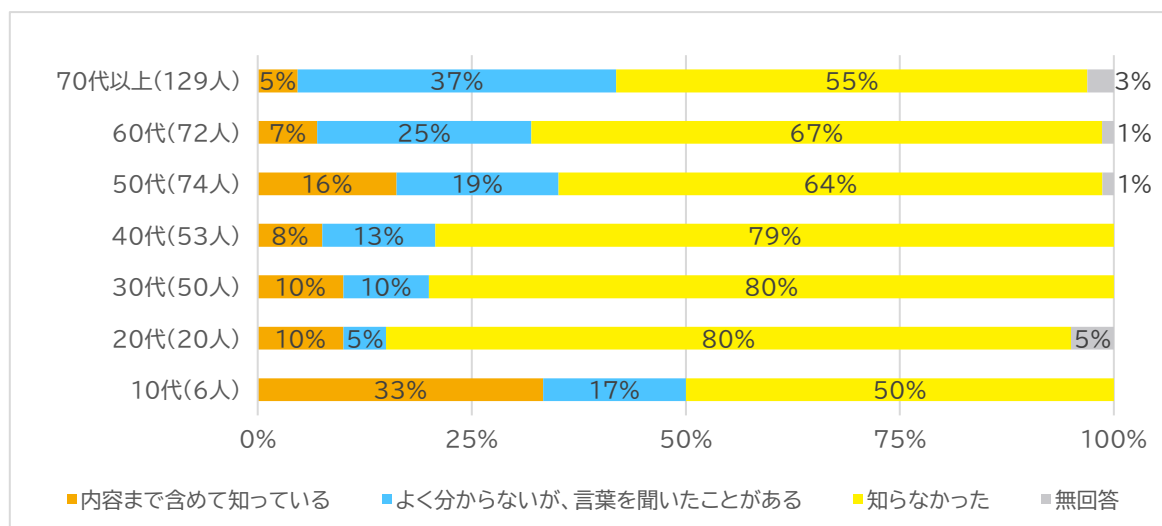
問 14 持続可能でより良い世界を目指す国際目標として、2030年までに実現すべきゴールを示した「持続可能な開発目標（SDGs（エスディージーズ）」を知っていますか。

「持続可能な開発目標（SDGs）」の認知度は、「内容まで含めて知っている」が9%、「よく分からないが、言葉を聞いたことがある」が23%で、合わせて32%でした。

年代別に見ると、認知度は20代～40代で低い傾向にあり、2割程度でした。



▶ 年代別×持続可能な開発目標（SDGs）の認知度



アンケート調査票

旭川市

地球温暖化に関する市民意識調査

提出期限 8月21日(金)までにご投函ください

※同封の返信用封筒によりご提出ください

はじめに、地球温暖化に対する認識についてお尋ねします。

問1

あなたは、北海道で温暖化の影響が現れるのはどれくらい先だと思いますか？(1つに○)

- 1 すでに現れている [問1-aへ](#)
- 2 10年先
- 3 25年先
- 4 50年先
- 5 100年先
- 6 わからない

「1」を選んだ方へ

問1-a

どのようなことで温暖化の影響を感じていますか？
(該当するものにいくつでも○)

- 1 猛暑や集中豪雨など異常気象の増加
- 2 降雪量の増減
- 3 農作物の品質や収量、種類などの変化
- 4 水産物の品質や収量、種類などの変化
- 5 野生生物の生息域の変化など生態系への影響
- 6 熱中症の増加や感染症の拡大など健康への影響
- 7 その他 ()

問2

温暖化の原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いものはどれですか？(1つに○)

- 1 主に人間の活動に原因がある
- 2 一部は自然現象、一部は人間の活動に原因がある
- 3 主に自然現象である
- 4 わからない
- 5 温暖化は起きない

問3

あなたは、温暖化の進行を食い止めるために、自身の暮らしや習慣を変えていかなければならないと思いますか？（1つに○）

- 1 そう思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらかというと思わない
- 4 そう思わない
- 5 どちらともいえない

問4

温暖化対策が個人の生活の質（衣食住や生活環境、仕事、人間関係などあらゆる側面を含めた満足度）に与える影響について、あなたの考えに近いものはどれですか。（1つに○）

- 1 生活の質を低下させる・脅かす …… [問4-a へ](#)
- 2 生活の質を高める …………… [問4-b へ](#)
- 3 生活の質に影響しない
- 4 わからない

「1」を選んだ方へ

問4-a

「生活の質を低下させる・脅かす」と思う理由は何ですか？（該当するものにいくつでも○）

- 1 手間や我慢が増える
- 2 費用負担が増える
- 3 特にメリットを感じない
- 4 その他（ ）

「2」を選んだ方へ

問4-b

「生活の質を高める」と思う理由は何ですか？（該当するものにいくつでも○）

- 1 暮らしの快適さにつながる
- 2 光熱費の削減につながる
- 3 地域エネルギーの活用が進み防災面でメリットがある
- 4 地域エネルギーの活用が進み地域経済に良い影響がある
- 5 その他（ ）

問5

北海道では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を2050年までに実質^{ゼロ}0にすることを目指していますが、このことを知っていましたか？（1つに○）

- 1 知っている
- 2 知らなかった

問6

地球温暖化の対策として、既に生じている被害や将来予測される被害を回避・軽減することを「適応策」と言いますが、あなたはこの言葉を知っていましたか。(1つに○)

- 1 意味も含めて知っている
- 2 意味を知らなかったが言葉は聞いたことがある
- 3 知らなかった

次に、ご家庭での暖房の使用状況についてお尋ねします。

問7

あなたのご自宅では、どのような種類の暖房機器を使用していますか。(使用している種類全てに○)

- 1 電気式の暖房機器
(エアコン、電気ストーブ、電気カーペット、電気蓄熱暖房器、電気床暖房など)
- 2 ガスを使用する暖房機器
(ガスストーブ類、ガス温水床暖房など)
- 3 灯油を使用する暖房機器
(灯油ストーブ類、灯油温水床暖房など)
- 4 薪ストーブ
- 5 ペレットストーブ
- 6 その他 ()

薪ストーブ又はペレットストーブを使っている方は問8、問8-aを飛ばして問9へ

問8

薪ストーブやペレットストーブを現在使用していない方にお尋ねします。あなたは、薪ストーブやペレットストーブに興味がありますか。(1つに○)

- 1 興味がある 問8-a へ
- 2 興味がない
- 3 どちらともいえない

「1」を選んだ方へ

問8-a

仮に将来、薪ストーブやペレットストーブの導入を検討する際に、知りたい情報は何ですか。(該当するものいくつかでも○)

- 1 体験による使用実感(暖かさや手間)
- 2 実際に使用している人の感想
- 3 導入費用
- 4 燃料代
- 5 二酸化炭素削減効果
- 6 煙による近所への影響
- 7 導入補助金の情報
- 8 購入先の情報
- 9 その他 ()

問9

あなたは、化石燃料の代わりに木質系燃料（薪や木質ペレット）を使うことが、温暖化対策にもなることを知っていましたか。（1つに〇）

- 1 理由も含めて知っている
- 2 詳しくは分からないが、聞いたことがある
- 3 知らなかった

参考

薪や木質ペレットと 温暖化対策

薪や木質ペレットを燃やすとCO₂が発生しますが、これは木の成長過程で大気中から吸収したCO₂に由来するため、大気中のCO₂量の増減がないとみなすことができます。（このことは「カーボンニュートラル」と呼ばれています。）そのため、地中から得た化石燃料の代わりに木質資源を使うことは温暖化対策として有効であると考えられます。

また、薪やペレットは適切に管理された森林からは繰り返し生産できる資源であるこ

とから、地域内で積極的に活用することで地域経済の好循環にもつながります。

旭川市では、地球温暖化対策の一環として、薪や木質ペレットの利用拡大と適切な森林管理を同時に図る取組を進めています。

市民の皆様が薪ストーブやペレットストーブを導入する際に利用できる補助金制度もありますので、詳しくは市のホームページをご覧ください。市役所環境総務課温暖化対策係にお問い合わせください。

次に、ご家庭での自動車の使用状況についてお尋ねします。

問 10

あなたのご家庭では自動車を使っていますか？
(1つに○)

- 1 回答者ご本人が運転している …… 問 10-a、問 10-b へ
- 2 回答者ご本人は運転していないが、家族が運転している …… 問 10-a、問 10-b は、自動車を運転しているご家族に回答してもらってください（難しければ、飛ばして問 11 へ進んでください）
- 3 使っていない

自動車を運転される方へ

問 10-a

同封のリーフレット「エコ&セーフティドライブで北海道を走ろう。」をご覧ください。リーフレット 2～3 ページでは燃費の良い運転方法を 4 項目紹介していますが、あなたは自動車を運転する際にこれらの項目を実践していますか？（各項目に 1 つずつ○）



	いつも実践している	ときどき実践している	実践していない
① 発進時は控えめのアクセルでゆっくり加速する。			
② ゆるやかなアクセル操作により走行中の加減速を少なくする。			
③ 減速時は早めにアクセルから足を離し、エンジンブレーキを活用する。			
④ 駐停車時にはなるべくエンジンを止める（自動アイドリングストップ機能を活用する場合を含む）。			

自動車を運転される方へ

問 10-b

同封のリーフレット「エコ&セーフティドライブで北海道を走ろう。」をお読みになって、今後、エコドライブに取り組もうと思いませんか。（1つに○）

- 1 現在も常に行っており、今後も行いたい
- 2 これまで行う頻度は少なかったが、今後は常に行いたい
- 3 機会があれば行いたい
- 4 行いたいとは思わない
- 5 わからない

次に、ご家庭での省エネの取組みについてお尋ねします。

問 11

省エネにつながる①～⑩の行動内容について、「実践している」、「実践していない」のいずれかに○をつけてください。また、「実践していない」を選択した場合、さらに「実践していない理由」について、選択肢の中から最も近いもの1つを選び○をつけてください。

「実施していない理由」
選択肢の説明

- やり方 …………… やり方が分からないから
- 効果 …………… 実践による省エネ効果が分からないから
- 手間 …………… 手間がかかるから
- 経費 …………… 経費がかかるから
- 習慣 …………… 生活や習慣を変えるのが難しいから
- 知らなかった …… この行動が省エネにつながることを知らなかった
- 非該当 …………… 該当しない（対象となる製品をそもそも使っていないなど）

		実践している	実践していない	実践していない場合は理由を1つ選択						
				やり方	効果	手間	経費	習慣	知らなかった	非該当
テレビ	① テレビの画面の明るさを抑えている									
	② テレビを使用しないときは主電源をオフにしている									
冷蔵庫	③ 冷蔵庫の温度設定を夏は“中”以下、他の季節は“弱”にしている									
	④ 冷蔵庫に物を詰め込み過ぎないようにしている									
照明	⑤ 白熱電球から高効率照明（LED等）に交換している									
トイレ	⑥ トイレの暖房便座機能を冬以外は使用しない									
暖房	⑦ 暖房時の室温は20度以下を目安にしている									
商品選択	⑧ 省エネ性能が高い家電など、環境負荷の小さい商品を購入している									
移動	⑨ 自動車の使用を控えて、徒歩や自転車、公共交通機関をなるべく利用している									
配達	⑩ 宅配便はできるだけ1回で受け取っている									

次に、「COOL CHOICE(クールチョイス)」についてお尋ねします。

問 12

政府では、生活の中で温暖化対策につながる行動や商品・サービスを選択する「COOL CHOICE(賢い選択)」の取組みを呼びかけていますが、知っていましたか？(1つに○)

- 1 内容も含めて知っている
- 2 詳しくは知らないが、聞いたことがある
- 3 知らなかった

※ COOL CHOICEについては同封のチラシをご参照ください



問 13

あなたは、これからの生活の中で、温暖化対策につながる行動や商品・サービスなどを選択していこうと思いませんか？(1つに○)

- 1 そう思う
(=COOL CHOICEに賛同する)
- 2 そう思わない
- 3 わからない

…… 問 13-a へ

「1」を選んだ方へ

問 13-a

政府では、以下の取組みの呼びかけも行っていますが、あなたが今後取り組もうと思うものはありますか？(該当するものがあればいくつでも○)

<p>クールビズ COOLBIZ クールビズ</p> <p>夏季の冷房時の室温を 28℃(目安) に。涼しいファッションで、快適で省エネに過ごすライフスタイル。</p>	<p>ウォームビズ WARMBIZ ウォームビズ</p> <p>冬季の暖房時の室温を 20℃(目安) に。首・手首・足首の「3つの首」をあたため、省エネに過ごすライフスタイル。</p>	<p>スマートムーブ smart move</p> <p>徒歩や自転車、公共交通機関を利用し、「移動」を「エコ」に。健康で快適な新しい移動のスタイルにチャレンジ！</p>	<p>エコドライブ ECO DRIVE</p> <p>アクセル操作一つで、お財布にも環境にも優しく、安全運転にもなる。すぐに実践できる、それがエコドライブ。</p>
<p>COOL CHOICE 5つ星家電買換えキャンペーン</p> <p>賢い選択★★★★★ 省エネ家電 5つ星</p> <p>統一省エネルギーラベルの星の数が多い家電への買換えやLED照明への買換え・交換。</p>	<p>COOL CHOICE エコ住キャンペーン</p> <p>高断熱・省エネ住宅への買換えや、断熱や水回りの省エネリフォーム。</p>	<p>COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン</p> <p>CO₂排出量の増加を招く宅配便の再配達を防ぐため、できるだけ1回での荷物の受け取り。</p>	<p>COOL CHOICE チョイス!エコカーキャンペーン</p> <p>買っておトク! 乗っておトク! 使って「地球」にやさしいエコカーに買換え。</p>

次に、持続可能な開発目標（SDGs）についてお尋ねします。

問 14

持続可能でより良い世界を目指す国際目標として、2030年までに実現すべきゴールを示した「持続可能な開発目標（SDGs（エスディーゼーズ）」）を知っていますか。（1つに○）

- 1 内容まで含めて知っている
- 2 よく分からないが、言葉を聞いたことがある
- 3 知らなかった

次に、市の温暖化対策へのご意向等についてお尋ねします。

問 15

地球温暖化対策を進めていく上で、市に期待する取組等やご意見があれば教えてください。（この質問には自由記述でご回答ください。）

（回答欄）

最後に、ご回答いただいたあなた自身について、それぞれ当てはまる選択肢に○をつけてください。

年 代	(1) 10代	(2) 20代	(3) 30代	(4) 40代	(5) 50代	(6) 60代	(7) 70代以上		
性 別	(1) 男性	(2) 女性	(3) その他	(4) 回答しない					
世帯人数	(1) 1人	(2) 2人	(3) 3人	(4) 4人	(5) 5人	(6) 6人	(7) 7人以上		
住居形態	(1) 戸建（持家）	(2) 戸建（貸借）	(3) 集合住宅（持家）	(4) 集合住宅（貸借）	(5) その他（				
職 業	(1) 会社員・団体職員	(2) 自営業	(3) 公務員	(4) 学生	(5) 主婦・主夫	(6) パート・アルバイト	(7) 無職	(8) その他（	

調査は以上です。ご協力いただきありがとうございました。回答後は、同封の返信用封筒によりご返送ください。返信の宛先は、集計業務を担当する公益財団法人 北海道環境財団となっています。

※返信の際、切手は不要ですのでそのまま投函してください。

※調査票や返信用封筒への住所やお名前の記入は不要です。

令和2年12月

北海道地球温暖化防止活動推進センター（公益財団法人北海道環境財団）

〒060-0004

札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL：011-218-7811 FAX：011-218-7812

ホームページ <http://www.heco-spc.or.jp>
